VPC54H

ワンケーブルカメラ　　取扱説明書

安全にお使いいただくために

ご自身や他の人々への危害や、財産への損害を未然に防ぐ為の事項を示します。 ご使用の前に必ずお読みください。

警告　人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 設置する前に必ず本機器の電源をＯＦＦにしてください。
- 製品の中に水やコーヒーなどの液体が入らないようにしてください。
- 電源ケーブルを無理に曲げたり、製品の上に重量物をのせたりしないでください。
- 機器の設置時や設置後は、機器の設置場所を清浄に保ち、埃などが付かないようにしてください。
- 湿気や埃、煤などが多い場所に設置しないでください。
- 本機器の内部には高電圧部分があります。絶対に分解、修理、改造をしないでください。
- 湿気の多い棚やテーブル、老朽化したケーブルタップや電源コードなど、作業上で起こりうる危険を事前に十分に検証してください。万一問題が発生した場合は、必ず製品をご購入した販売店にご相談ください。
- 重畳端子などが機器の背面に突き出ているので、壁に近づけ過ぎるとケーブルが破損する恐れがあります。

注意　人が障害を負う、あるいは物的障害を生じる可能性が想定される内容を示しています。

- 強い磁界や、ラジオ、TV等の無線機器が近くにある場所、衝撃を受ける恐れがある場所には設置しないでください。
- 周囲の温度と湿度が仕様範囲内の適切な場所に設置してください。
- 製品の内部に異物が入らないようにしてください。
- 強い衝撃と振動は機器の故障の原因となるため、衝撃や振動を受けない所に設置してください。
- 直射日光や熱機器を避けて設置してください。
- 異常な音や、悪臭を感じる場合は、直ちに電源プラグを抜き、販売店にお問い合わせください。

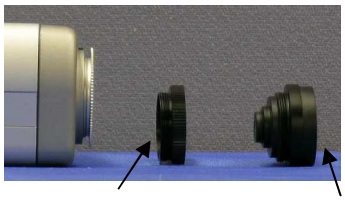
レンズを取付ける前の注意事項

使用するレンズは固定焦点レンズですか、それともオートアイリスレンズやバリフォーカルレンズですか？

固定焦点レンズです。(Cマウントレンズ)

1) レンズをカメラに取付ける前に、スペーサーをつけて下さい。

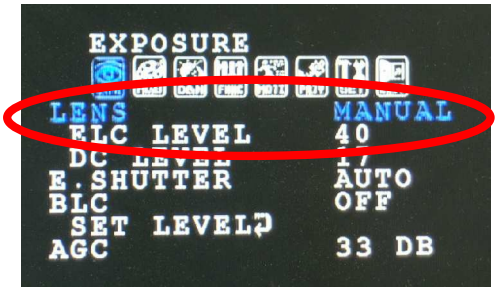
2) その後、レンズをつけてください。



スペーサー　　固定焦点レンズ

3) 次に後ろの「ENTER」ボタンを押すと、OSDメニューが画面に出てきますので、上下左右ボタンを使って「EXPOSURE」の「LENS」の項目をアクティブ(青色)にしてください。次に左ボタンを押して値を「MANUAL」にしてください。(OSDメニューの操作に関しては、P4を参照)

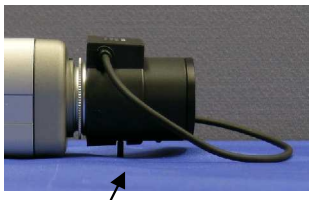
※　固定単焦点レンズを使用するときは必ず、OSDメニューの「EXPOSURE」の「LENS」の項目を必ず「MANUAL」にしてください。これを「DC」にした場合、ハレーションを引き起こす可能性があります。



4)「MANUAL」へ値を変更したら、上下左右ボタンを使って、「EXIT」の「SAVE&EXIT」の項目をアクティブ(青色)にしてください。それから「ENTER」ボタンを押して、OSDメニューを終了させてください。

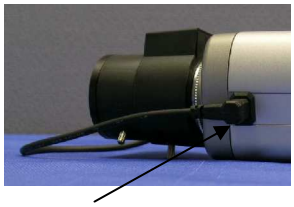
オートアイリスレンズまたは、バリフォーカルレンズです。(CSマウントレンズ)

1) これらのレンズは、カメラに直接取付けることができます。スペーサーは必要ありません。(スペーサーがカメラに付いている場合は、取り外してください。)



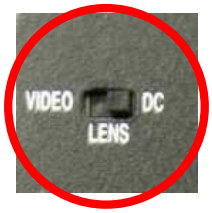
バリフォーカル・オートアイリスレンズ
スペーサーを付けずに直接つける

2) オートアイリス機能の付いたレンズを使用する場合は、側面のオートアイリスコネクターに、レンズから出ているコードを接続してください。

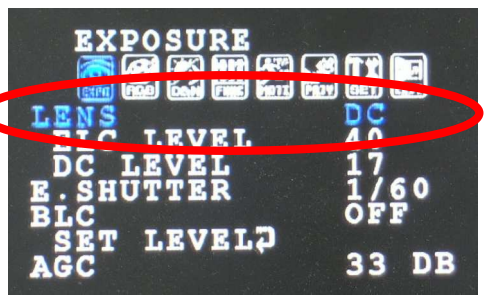


側面のオートアイリスコネクターに接続

3) 背面のディップスイッチを下記のように設定して下さい。
①レンズ設定スイッチ
このスイッチをDCにセットして下さい。



4) 次に後ろの「ENTER」ボタンを押すと、OSDメニューが画面に出てきますので、上下左右ボタンを使って「EXPOSURE」の「LENS」の項目をアクティブ(青色)にしてください。次に右ボタンを押して値を「DC」にしてください。(OSDメニューの操作に関しては、P4を参照) 明るさの調整が必要な時は、「DC　LEVEL」で行います。(P3 カメラの調節のNo.3を参照)

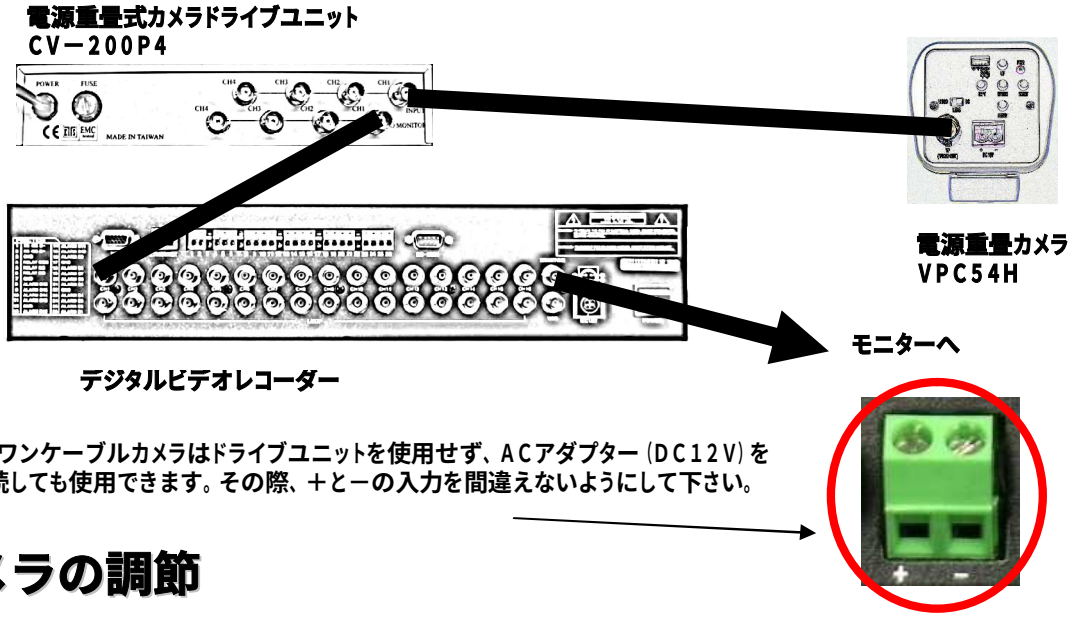


5)「DC」へ値を変更したら、上下左右ボタンを使って、「EXIT」の「SAVE&EXIT」の項目をアクティブ(青色)にしてください。それから「ENTER」ボタンを押して、OSDメニューを終了させてください。(左側4番目の項目の図を参照)

接続例

下図の通りカメラとドライブユニットを同軸ケーブルで接続し、ドライブユニットからその他の映像機器に接続して下さい。

ご注意 カメラを接続する前に必ず、機器の電源を切ってください。
また接続方法を間違えると周辺機器の損傷を引き起こす事があります。



※ このワンケーブルカメラはドライブユニットを使用せず、ACアダプター(DC12V)を直接接続しても使用できます。その際、＋と－の入力を間違えないようにして下さい。

カメラの調節

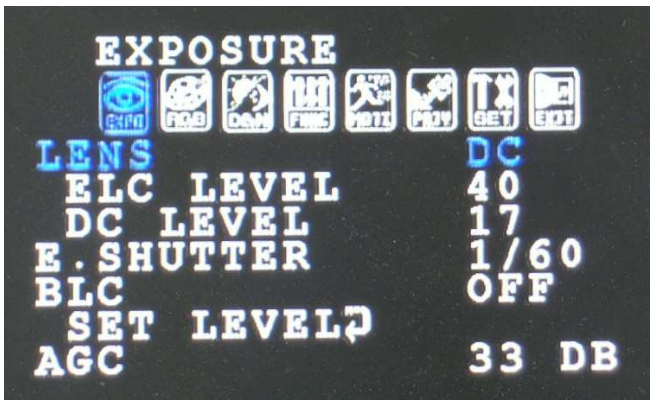
1.照明のちらつき(フリッカ)が気になる時は、フリッカモードにする。

50Hz地域では室内を映した場合、照明のちらつきが気になることがあります。その際は、ＯＳＤメニューの「ＥＸＰＯＳＵＲＥ」の「Ｅ．ＳＨＵＴＴＥＲ」の値を「１／１００」に設定して、「ＥＸＩＴ」の「ＳＡＶＥ＆ＥＸＩＴ」を選択して、設定を保存してください。ちらつきのない映像が得られます。

ご注意 フリッカレス機能は、オートアイリスレンズを使用し、ＯＳＤメニューの「ＥＸＰＯＳＵＲＥ」の「ＬＥＮＳ」の値を「ＤＣ」にして、「Ｅ．ＳＨＵＴＴＥＲ」を「１／１００」にした時に有効になります。また、フリッカレスモードにするとちらつきが低減できますが、フリッカレス機能が無効の時に比べて最低照明度値が落ちます。ちらつきが気にならない時や、暗い場所ではフリッカレスを無効にして使用してください。

2.逆光の補正が必要な時は、ＯＳＤメニューのＢＬＣを「ON」にする。

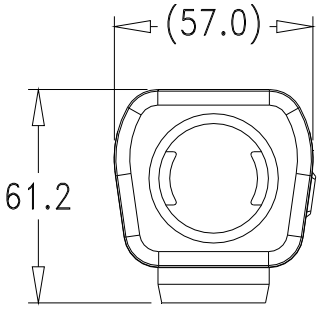
明るい光が背景にあり、前面にある物が暗く撮影されている時は、ＯＳＤメニューの「ＥＸＰＯＳＵＲＥ」の「ＢＬＣ」の値を「ON」にするといくらか改善できる場合があります。

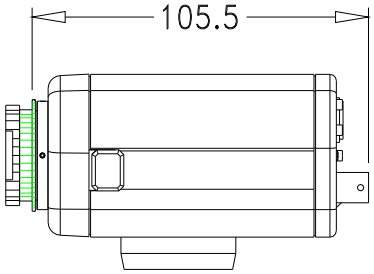


3.オートアイリスレンズを使用時に明るさの調整が必要な場合はＤＣアイリスレベルを調整する。

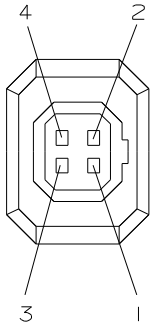
ＤＣアイリスレベルは工場出荷時に最適状態に設定していますが、被写体により調整が必要な場合は、ＯＳＤメニューの「ＤＣ　ＬＥＶＥＬ」の値を最適なレベルに変更して調節してください。

背面パネル、製品寸法及び仕様





	VPC54H
撮像素子	1/3 ” CCD（SONY製）38万画素
水平画像度	500 TV本
最低被写体照度	0．3ルクス（F2.0）
電子シャッター	1/60~1/100,000
自動光量調節	対応
自動ホワイトバランス	対応
同期方式	内部同期
逆光補正	ON/OFF切替
S／N比	46dB以上
フリッカレス・モード	1/100sec固定
映像出力	1.0Vp-p/75 Ohm
レンズマウント	C / CS マウント
ビデオアウト	BNC
動作周囲温度	-10°C~+55°C
電源	CV200P4 又は DC12V
消費電力	4W
外形寸法 / 質量	106(L)*57(W)*61(H)[mm] / 約205g



オートアイリス出力コネクタ

	Auto Driven	DC Driven
1	+8.5V DC	Control +
2	NC	Control -
3	Video Signal	Drive +
4	GND	GND